

## EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー

2010.5.1

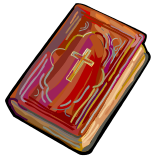
No.70

ゴールドデンウィークに恒例のバイブルセミナーがありました。そこである人に、「聖書をそのまま理解し、信頼することの大切さ」を話しました。

人間の考えを聖書に入れ込んでいくとだんだん聖書から離れてしまいます。例えば中世の時代、教会はアリストテレスの天文学を採用していました。聖書にその当時確かだと思われていた学問を入れ込んだのです。それゆえ、地球が中心ではなく、自転しながら太陽の周りを回っているという真理が解明されても、教会はそれを受け入れませんでした。研究者たちのことばに耳を傾けなかったのは良くなかったですが、一番の問題は「聖書は天動説を支持している。」と考えたことです。そこで多くの人々は地動説が常識になったとき、「聖書は間違っていた。」と思うようになったのです。間違っていたのは聖書ではなく、聖書に入れ込んだ「人間の考え」だったのです。

これもあまり知られていないのですが、地動説を主張したコペルニクスやガリレオは聖書を神のことばと信じていました。また、聖書は天文学の教科書ではないので、詳細に書いているわけではないものの、現代の天文学の常識を言及している箇所もあるのです。

「神は北を虚空に張り、地を何もなしに掛けられる。」  
(ヨブ二十六章七節)



## 荒波を経て保たれた聖書

地球から見て北の方に巨大な虚空（他の場所に比べて極端に物質が少ない所）があることがわかっていました。また、地（丸いというニュアンスがあるヘブライ語です）が浮かんでいるというように話しているのです。

このようなことを話していると、こんな返答がありました。「聖書も人間が書いたわけだし、人間が翻訳したのだから疑わしい。」と。聖書自体はこう語ります。

「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教へと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。」  
(第二モテ三章十六節)

ここの「神の靈感」というのは人間を恍惚状態にして書かせたという意味ではありません。人間が書きましたが、創造主なる神がその背後から、その人の個性、感情を用いて書くように導かれたということです。これについては実際に聖書を読むと、記者の思いを超えて働かれる神の知恵を知ることができま

す。次に、聖書が忠実に写本され続けてきたかについてです。これについては、現在十分すぎるほど立証されています。かつて最も古い写本と言われていたのがバチカン写本・シナイ写本と言われるもので紀元四世紀ごろのものでした。しかし、一九四七年に見つかった死海写本（下写真）は紀元前二世紀から紀元

一世紀に写本されたものだったので、一挙に四百年も昔の写本を手に入れたのです。研究の結果、写本のミスはほとんどなく、意味の変化は全くありませんでした。

最後に正しく翻訳されているか、という問題です。聖書ほど攻撃された書物はありません。絶えず批判にさらされてきたのです。正確に翻訳されてきたのかということも絶えず厳しい目でチェックされてきたのです。また聖書を神のことばと信じているクリスチャンたちも、自分たちの信仰の土台が正確に翻訳されてきているかは、いつも気になる場所です。そこで、入念に調べてきましたし、微妙なニュアンスを伝えるために、様々な訳が出ています。時代と共に変化する言葉にも対応してきました。例えば日本語の聖書では大まかに、文語訳、口語訳、新改訳が発行されました。創世記の一章一節をその順で見ると：

- ・ 元始に神天地を創造たまへり。
- ・ はじめに神は天と地とを創造された。
- ・ 初めに、神が天と地を創造した。

このように一つの言語でも、時代に合わせ、正確に意味を伝える努力が払われているのです。

今巷で流行っている本と言えば村上春樹著「Q八四」。ベストセラーの本を読んでみようと思うのはよくあることです。聖書は永遠のベストセラーと言われます。毎年、億単位で世界中の人々にもたらされているのです。



四月  
「こなごなし」しました！ 行事報告

- 一日 合同公文教室
- 五日 進級式
- 七日 お花見(宝塚・T宅)
- 十二日 K兄、F兄来訪
- 十七日 Jクラブ「春のスポーツ大会」
- 十八日 布施集会訪問
- 二十四日 バイブルサークルBBQ(大泉緑地)
- 二十七日 お作法教室(茶道)

進級式で五人が語った目標

- M : 受験生になったので、大学受験に向けての勉強をがんばりたい(特に苦手な数学など)
- H : もう少し先ですが、大学受験に向けて勉強を進めていきたいです。また、聖書の通読もつとがんばっていきたいです。
- N : 英語の勉強が大好き。そして話せるようになりたいです。
- E : 中学の数学は難しいので、あきらめずやっていきたい。集中力をつきたい。
- R : 国語をがんばりたいです。聖書を読んで、もっと神様のことを知っていきたいです。



← 宝塚・Tさん宅でお花見。満開の桜とおいしい食事にみな大満足。(花より団子?)



← 布施集会の兄弟姉妹と記念撮影。E のマジックで盛り上がりました(写真の中でもやっています)

新学期

R

四月から五年生になりました。四歳の時からホームスクー  
ルをしていてもう七年目です。最初の頃のことはあまり覚え  
ていません。

ホームスクール進級式では「国語をがんばりたいです。聖  
書を読んで、もっともっと神さまのことを知りたいです。お  
じいちゃんとおばあちゃんとお姉ちゃんとかでやっているいち  
じく会は三年目です。この三年間で創世記からイザヤ書まで  
輪読しました。ルカの福音書、ヨハネの福音書、使徒の働き  
まで書写しました。今は、マタイの福音書です。今年も四人  
で頑張りたいです。」と言いました。

スイミング・ピアノ・習字もしています。一生懸命がんば  
っています。ピアノはバイエルが終わってツェルニー百番と  
二十番をはじめました。スイミングも平泳ぎのキックのテス  
トが合格して六級になりました。

NHKのラジオ基礎英語を毎日楽しく聞いています。今年  
は二年目なので、聞き取れなかった単語も少し聞き取れるよ  
うになりました。まだ、四月なので簡単ですが、これからだ  
んだん難しくなってきます。

日曜学校では高学年になったので、低学年の子どもに優し  
くしてあげたいです。

これからお兄ちゃんお姉ちゃんたちとホームスクールを  
がんばりたいです。

編集後記

退職し、専心の働き手になって初めての外部教会での働き。そ  
れも初めて家族全員で赴きました。さらに四十五分かけて銀輪部  
隊で乗り込みました。七人それぞれ持ち味を生かして、働き、交  
わりを楽しみました。「ほんま楽しかったわー。」がみな感想。